

# いなげ

—そして未来へ—

どんなに時代が変わったとしても、確かなことは、私たちが仲間とともに学び語らった教室，研究に明け暮れた講座，患者さんのための治療に打ち込んだ病院が，稲毛の地にあったということ…。その事実は変わらない。

橋本貞充（昭和56年卒）



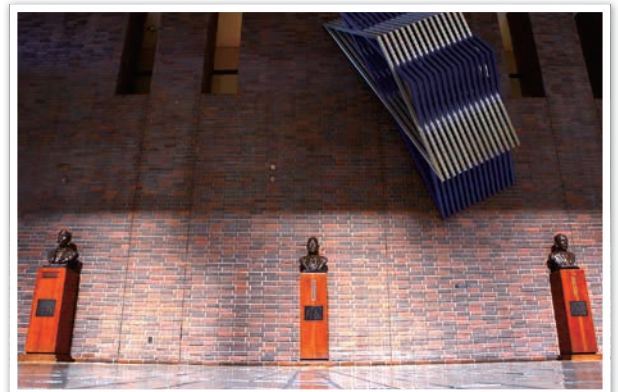
2021年。卒業生たちの思いが詰まった千葉校舎は、いつまでも記憶の中に…。



春夏秋冬。四季を感じる，緑に溢れたキャンパス。



吹き抜けのエントランスロビー。朝早くから夜遅くまで，毎日，いろんな思いを抱えて通り過ぎた。



雪の日。校庭は真っ白に染まる。



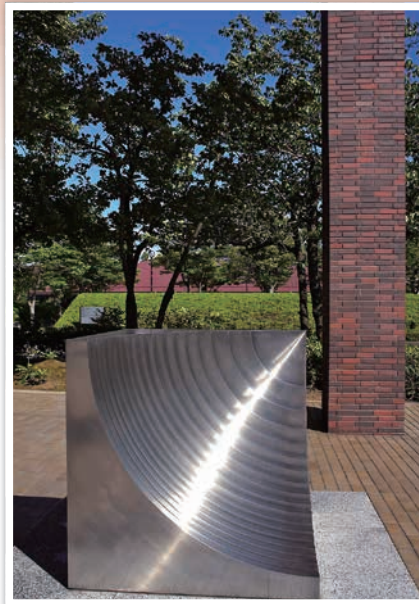
秋の日。樹々の紅葉に彩られた中庭。



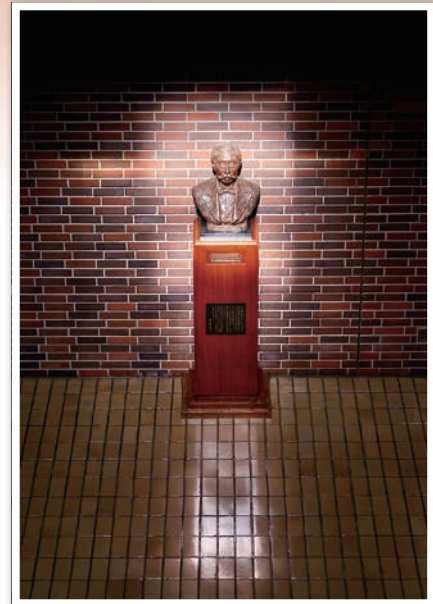
管理棟玄関の大理石の定礎板。昭和五十五年九月吉日の銘。



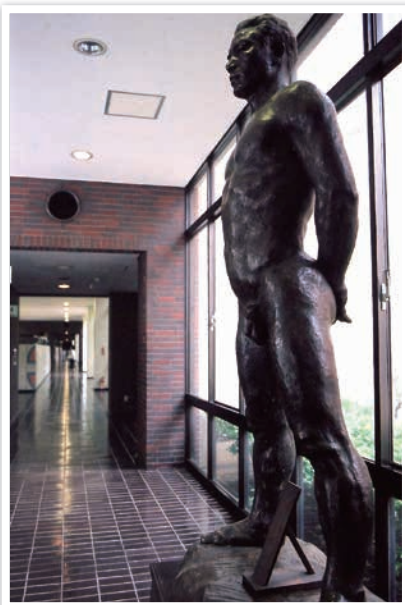
講堂の透明な硝子に並木の緑と青空が映える。



正面玄関のステンレスのモニュメント。  
銀色の球面が眩しかった。



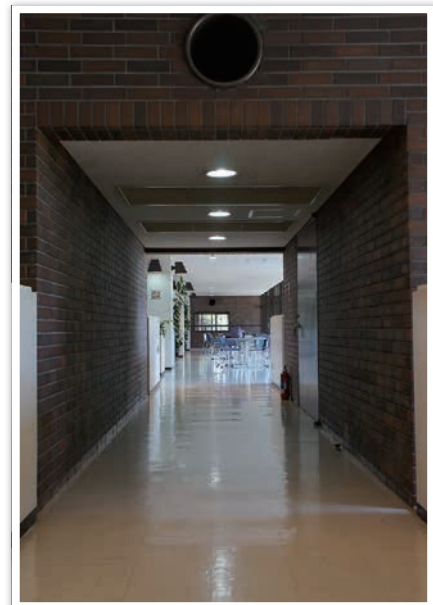
セピア色の煉瓦壁のグラデーション。  
光の中の高山紀斎先生の胸像。



東門からガラス扉を開けて駆け込んだ。



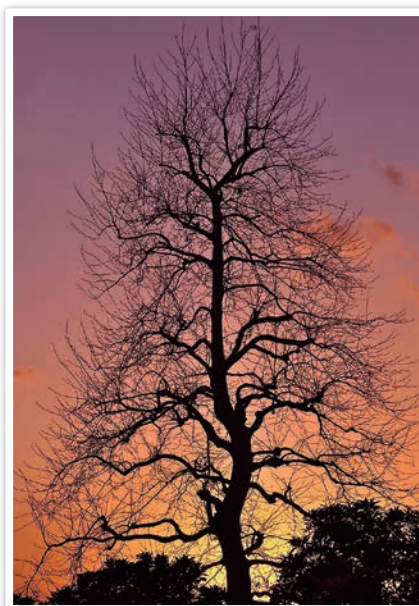
特別会議室前の陽の当たるラウンジ。  
黒革のWassily Chair。



基礎棟1階の第2ラウンジから第4ラウンジへ。



エントランスホールの2階にあった大きな振り子時計の向こうで、血脇守之助先生が時の流れをみつめている。



中庭のヒポクラテスの木。



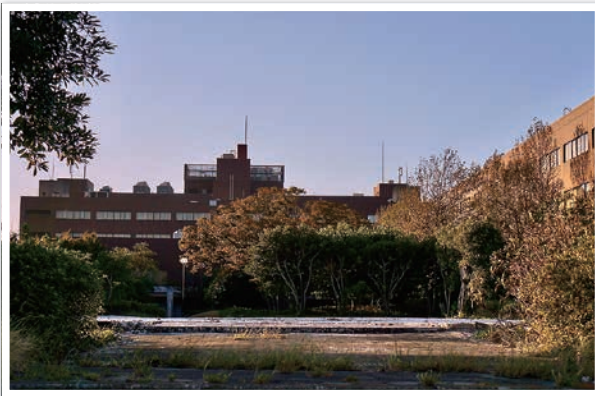
第1教室へと続く長い廊下。年月に磨き込まれたタイルが輝く。



青空の下。天井のない講堂。油圧ショベルのフォークグラップルが壁を壊していく。(07.27.2019)



教養棟の取り壊し。(07.24.2018)



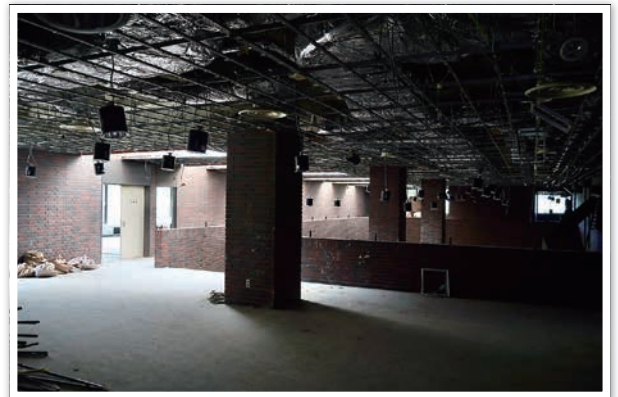
教養棟の跡地の向こうに臨床棟が見える。(10.01.2018)



もう使う人もいない夕暮れのテニスコート。(10.01.2018)



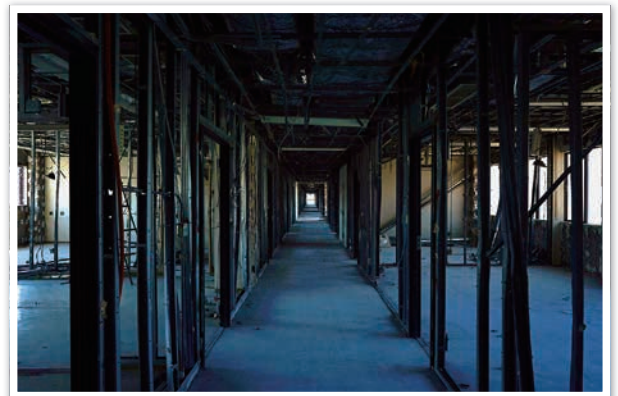
取り壊しの始まった管理棟エントランスホール。床のタイルが灰色にくすむ。(07.18.2021)



エントランスホールの2階。正面の階段をあがると、秘書室や学長室、理事長室があった。(07.18.2021)



基礎棟4階、病理学と歯科理工学の前の長い廊下。臨床棟へと続く。(06.13.2021)



夕暮れの基礎棟4階の廊下。教養棟側のエレベーターへ。(05.02.2021)



机が外された第3教室。学生たちのざわめきが聞こえる。  
(03.09.2021)



第3教室と第4教室の入り口。(03.09.2021)



内装が取り外された、第1教室。階段教室の床が美しい同心円を描く。  
壁面のガラスブロックのレンズを通して、眩しい程の明るい光が差し込む。(05.23.2021)



思い出の詰まった実習講義棟の取り壊しが始まった。  
(07.18.2021)



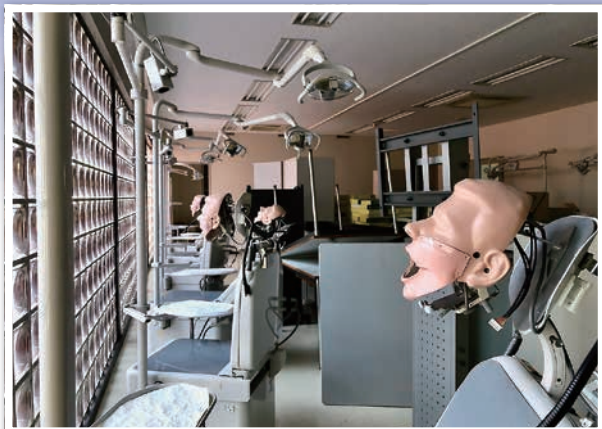
実習講義棟の北側。壁面だけが残る。(07.18.2021)



臨床棟の屋上からみた基礎棟と実習講義棟。  
壁だけが残されている。(07.18.2021)



コンクリートの欠片に埋もれた第1教室と第2教室。(07.18.2021)



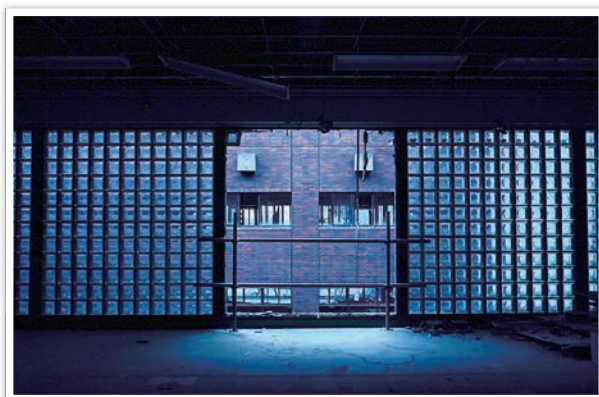
実習講義棟3階・臨床基礎実習室。(02.23.2021)



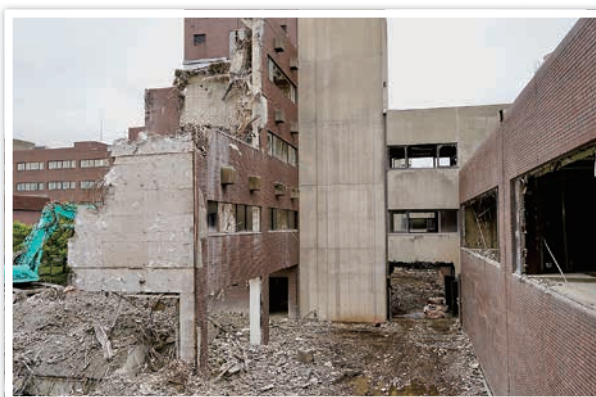
臨床基礎実習室。(02.23.2021)



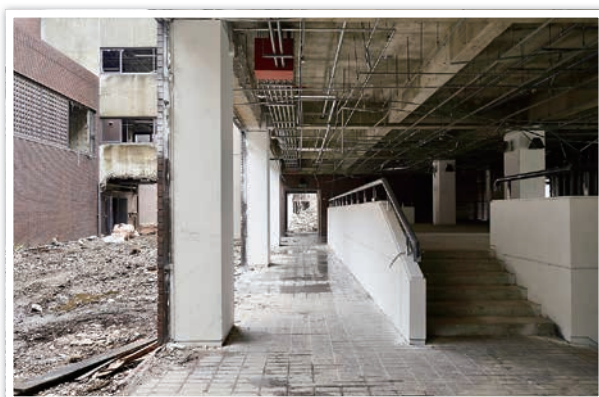
実習講義棟2階・実習講義室。(05.02.2021)



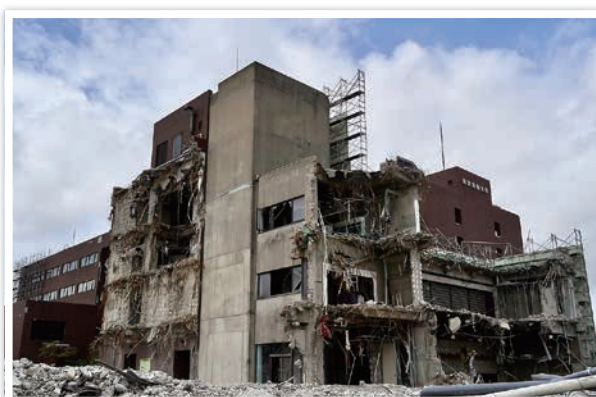
実習講義室のガラスブロックの壁。(05.01.2021)



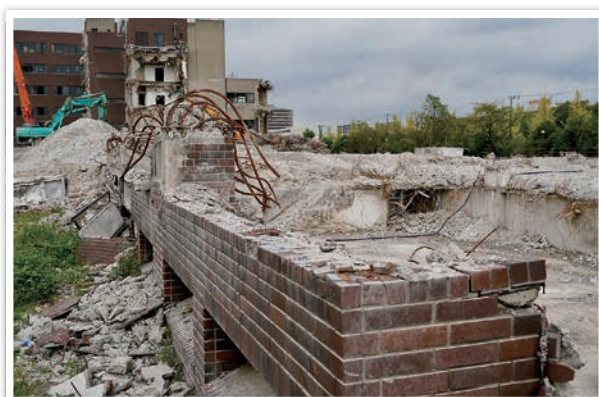
取り壊しが進む基礎棟と実習講義棟。(06.20.2021)



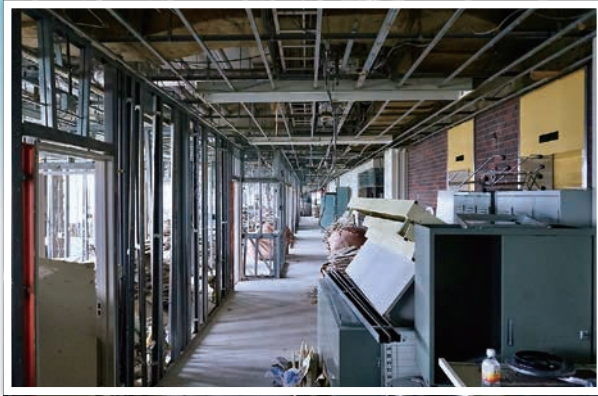
ガラス窓が外された基礎棟1階。(06.20.2021)



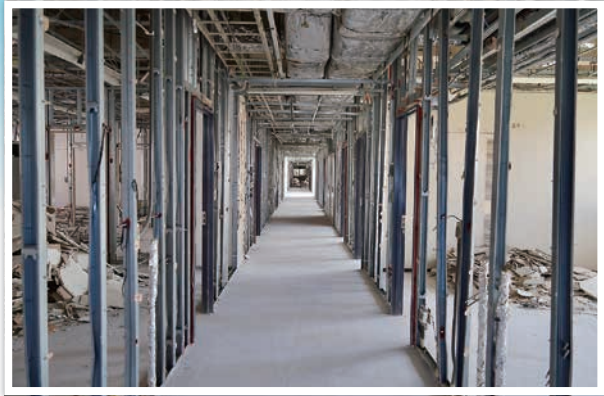
臨床棟へと取り壊しが進んでいく。(08.09.2021)



基礎棟の地下にあるロッカールームの跡。(09.11.2021)



病院棟の6階。手術室，ナースセンター，病棟があった。  
(05.23.2021)



臨床棟の5階。矯正歯科，歯科麻酔科，口腔外科の研究室。  
(07.18.2021)



病院棟の5階。口腔外科診療室。(07.18.2021)



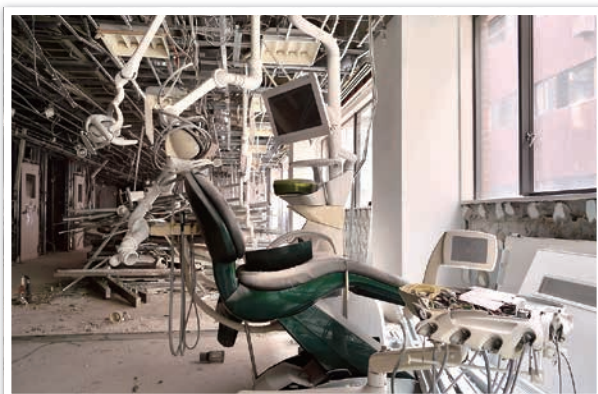
病院棟の4階。第3一般歯科診療室。(07.18.2021)



病院棟4階。第3一般歯科診療室から第4一般歯科診療室。  
(07.18.2021)



病院棟3階。補綴科診療室。(07.18.2021)



病院棟2階。口腔インプラント科診療室。(07.18.2021)



病院棟2階。小児歯科診療室。(07.18.2021)



病院棟2階，千葉病院のエントランス・ホール。(08.10.2021)



病院棟1階，千葉病院受付。正面の壁だけが残る。(10.10.2021)



基礎棟跡から，取り壊し中の臨床棟を望む。(07.18.2021)



取り壊されていく病院棟。(10.10.2021)



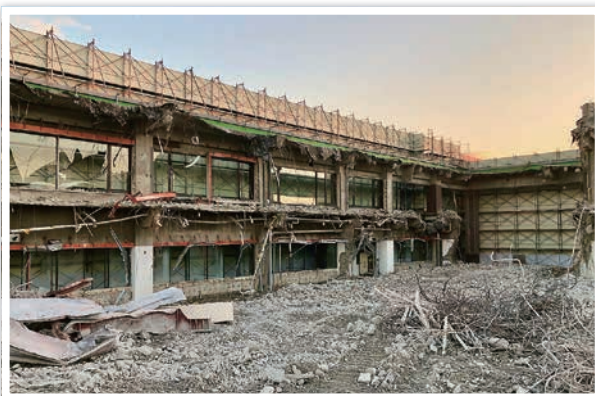
基礎棟から臨床棟へ。(07.18.2021)



病院棟正面の厚い壁。(10.11.2021)



管理棟エントランスホールの壁に残る，建築協会賞受賞の銘板。(07.18.2021)



最後に残る管理棟エントランスホールから玄関までの外壁。(12.12.2021)



想い出の建物はすべて瓦礫となり，錆びた消火栓が，かつて教養棟から基礎棟へ向かう扉がそこにあったことを示している。(12.12.2021)



閉じられた千葉病院・旧千葉歯科医療センターのファサードとエントランス。しっかりと心に刻む。(04.29.2021)



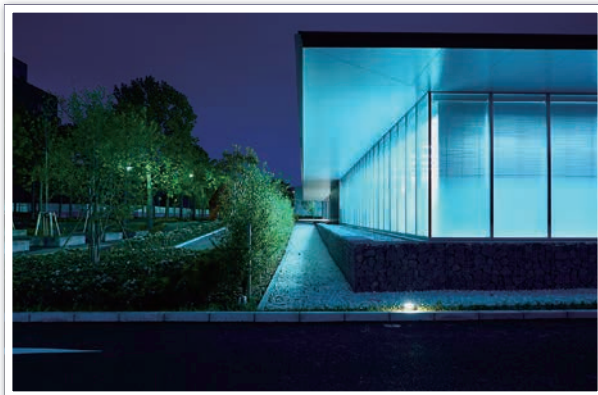
東京歯科大学の大きな塔屋看板と、入り口に掲げられた千葉歯科医療センターの案内板。(10.10.2021)



病院棟屋上から、玄関のロータリーと変わりゆく稲毛の街並みを望む。(05.23.2021)



千葉キャンパスを象徴する赤いキューブのモニュメントは残った。(10.02.2019)



2021年3月に開院した新千葉歯科医療センター。(05.01.2021)



取り壊される前の病院棟の屋上からは、新千葉歯科医療センターの上に、行き交う船と水平線が眺められた。(05.23.2021)



千葉校舎の教室の壁のガラスブロックを、旧水道橋校舎の壁のタイルと、現在の水道橋校舎の大理石の上に重ねてみる。(05.03.2021)



新しいグラウンドの向こう側で、次の時代の千葉キャンパスが未来に向けて始動しています。(05.03.2021)